

# 小樽警察署庁舎



旧庁舎のデザインを踏襲した正面玄関



木を貼った廊下



螺旋階段

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 建築主  | 北海道警察本部                 |
| 所在地  | 小樽市富岡1丁目                |
| 敷地面積 | 3,828.66 m <sup>2</sup> |
| 建築面積 | 1,415.85 m <sup>2</sup> |
| 延べ面積 | 3,887.93 m <sup>2</sup> |
| 構造   | 鉄筋コンクリート造               |
| 階数   | 地下1階、地上3階               |
| 工期   | 1999年7月～2001年3月         |

(建築設計・監理は中山設計事務所と共同  
設備設計・監理はピーゴイング、  
外構設計・監理はさがら設計事務所)

この庁舎は、昭和12年竣工の旧小樽警察署をバリアフリー、フレキシビリティ、省エネルギー、そして耐震性能の確保と情報化に対応させるために全面改築したものである。計画上のテーマは、旧庁舎のイメージをできる限り再現すること、坂の街小樽の市民に愛された景観を尊重したデザインとすることであった。

外壁のタイルは、旧庁舎の陶器タイルの風合を再現し、また水平方向に深い目地を設け陰影のある表情を加えた。腰壁の石積み、玄関の庇、玄関灯は旧庁舎のデザインを踏襲したものである。内装仕上材は、木や石、あるいは天然素材の塗壁などを積極的に採用し、あたたかみのある快適な環境の庁舎とした。構造は、大地震に対して余力を持った計画とし、石や窓、設備機器などの地震時の脱落に対しても配慮した。